

遂に海外展開スタート！クラフトビールのおいしさを、日本から発信！
「Tap Marché（タップ・マルシェ）」、台湾での本格展開開始
～2020年7月から、SVB商品5ブランドを販売～

キリンビール株式会社（社長 布施孝之）は、新しいクラフトビールの楽しみ方を提案する「Tap Marché（タップ・マルシェ）」を、2020年7月から台湾において本格展開開始しました。海外での「Tap Marché」取り扱いには台湾が初となります。

「Tap Marché」は、「Marché（市場）」のように、個性豊かで多様なクラフトビールと多くのお客様が会い、気軽に楽しんでいただく「場」を実現することで、新たなビール文化の創造を目指す取り組みです。当社が開発した1台で4種類のビールの提供が可能な小型のディスペンサーを設置することで、多様なクラフトビールをお楽しみいただけます。複数種類のクラフトビールを手軽に提供できる「Tap Marché」は高い評価をいただき、2017年4月の首都圏1都3県での展開を皮切りに、2019年末時点では日本国内で約13,000店の取り扱い規模となりました。2019年には「外食アワード 2019」（特別協賛・焼肉ビジネスフェア事務局／居酒屋ジャパン事務局）も受賞し、日本国内でのクラフトビール市場の活性化と、ビール市場の魅力化に大きく寄与しています。

台湾においても、個性豊かで多様なクラフトビールは若年層を中心に支持が高まっており、クラフトビールを取り扱う店舗も年々増加し、クラフトブルワリーも過去5年で約2倍^{※1}に増えています。ビール市場構成比に占めるクラフトビールの割合も段階的に高まっており、2019年には日本の約5倍にあたる約5%^{※2}となりました。

クラフトビールの需要拡大により、飲食店にも幅広いクラフトビールラインアップが求められています。当社は1台で4種類のビールが提供可能な「Tap Marché」を2019年11月から台湾にてテスト展開してきましたが、手軽に複数種類のクラフトビールが提供できること、個性豊かなスプリングバレーブルワリー（以下、SVB）ブランドが高く支持されたため、今年7月から本格展開を開始することになりました。

本展開によって、台湾のお客様の期待に応えるとともに、日本のクラフトビールの品質の高さをしっかり伝えることで、両国のクラフトビール市場の活性化を目指します。

※1 台湾経済部への登記数を基にキリンビールにて計算

※2 キリンビール調べ。日本のビール類市場における2019年のクラフトビール割合は0.9%程度。

キリングroupは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。



添付資料…台湾における「Tap Marché」展開概要<1枚>

台湾における「Tap Marché（タップ・マルシェ）」展開概要

1. 名称：「Tap Marché（タップ・マルシェ）」

2. 展開開始月：2019年11月よりテスト展開開始、2020年7月より本格展開開始

※日本では2017年4月に展開を開始、2018年3月14日（水）より全国展開開始

3. 展開エリア：台湾の飲食店

4. 展開ブランド：スプリングバレーブルワリーの5液種

「496」「on the cloud」「JAZZBERRY」「Afterdark」「Daydream」

5. 展開目的

「Marché（市場）」のように、個性豊かで多様なクラフトビールと多くのお客様が出会い、気軽に楽しんでいただく「場」を実現することで、台湾のお客様の期待に応えるとともに、日本のクラフトビールの品質の高さをしっかり伝えることで、両国のクラフトビール市場の活性化を目指します。

6. 容器について

複数のクラフトビールの販売に適した3L小型ペットボトル容器を採用しました。

7. 専用ディスペンサーについて

1台で4種類のクラフトビールが提供でき、省スペースで、容易に3L小型ペットボトル容器を交換できるディスペンサーです。飲食店が複数のラインアップの中から自店にあったクラフトビールを選ぶことが可能で、料理とクラフトビールを合わせた多様な提案ができます。また、取り扱うクラフトビールを変化させることで、お客様に選べる楽しさ、新しい発見を提供できます。